

## ガバナー就任の

### ご挨拶

ガバナー 中西 正二

一昨年ガバナー・ノミネーに指名されました時、お会いする会員の皆様から異口同音に「大変なことになりましたなあ」とのご挨拶を戴きましたが、当時は全く未経験の仕事でもあり、「めくら蛇におじず」の例で仰有る程緊張もいたしておりませんでした。その後諸先輩からご指導を受け、また色々な会合に引張り出されている間に、本当に大変だなあと云うことが分って参りました。初めはまだまだ先のことだと思っておりましたが、いつの間にか来年が今年になり、とうとう本番を迎えてしまいました。至って未熟者でございますが、どうかよろしくお力添の程お願い申し上げます。

今年度、国際ロータリーのテーマは従来と違った特長が見られます。今までのテーマは殆んど「何々をしましょう」と云う目的を現わしていましたが、今回は「あなたが鍵です」とロータリアン自身に焦点をあてています。ロータリーの基盤その力その良さは独り独りのロータリアンであって、会員個人の活動なくしてロータリーは考えられません。そして何をすべきかについては綱領に示された通りのことを説かれています。何だかロータリー本来の姿に帰ったような、また原点に戻った感じがいたします。

最近では会員増強が強く大きく叫ばれていますが、勿論これも大きな力になることは間違いありませんが、さて一体自分の脚下を見えますとどうなっているのでしょうか。

ロータリーが船出して今年でちょうど80年、



最初は小さな舟で4人乗、しかも全部が漕ぎ手でありました。以来舟の数も増えまた舟もだんだん大きくなりました。大きくなって遊覧船のようになると、ともすれば漕ぎ手と観覧客に分かれる場合が見られます。ロータリーには観覧席はありません。ひとりひとりが漕ぎ手なのです。

「企業は人なり」とは古くから云われてきた言葉であります。ロータリーは企業ではありませんが、ロータリーと云う組織で、この組織の目的を達成出来るかどうかは、この言葉の通り結局は会員自身なりと云うことが出来ます。私は今年度のテーマにそって、鍵である会員個人の資質の向上を最大課題といたしたいと思います。

あなたが鍵であると同時に、あなたの持つておられる鍵で、クラブの、職業の、地域社会への、国際理解への、扉を開いてみようではありませんか。